

活動名称 そらの森の植樹活動～地域で育てる森プロジェクト～

エントリー部門 活力ある地域づくり

ルート名称 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

活動概要

活動の目的・目標：国道241号沿線の森づくりを通じて、美しい景観づくりを進めるだけでなく、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの各活動の連携、市町村界を越えた地域の連携、年齢や障がいの有無を越えたつながりを強め、地域全体の活力を向上させる。

活動内容：そらの森（弟子屈飛行場跡地：弟子屈町）での森林再生を目指した森づくり。

活動期間：平成22年度～平成27年度（6年目）。



平成27年度の植樹イベントの様子

活動の体制

【景観まちづくり部会】助成金申請

【景観まちづくり部会・活動団体】
イベント準備・当日スタッフ

【地域住民(子供たち)・障がい者】
植樹や移植、木の実まきの作業

【地域住民(子供たち)】
ドングリやクルミ拾い



移植作業の様子
(木の実がこんなに大きく成長)

PRポイント

【工夫した点】生長まで継続的に活動を行うための資金(苗木代、維持費)の確保が課題であった。

苗木の植樹活動、育成活動を継続できるよう、ドングリやクルミを弟子屈町内から拾い集め、種まきを行い、苗木づくりを行っている。

→ 初年度に植えた幼木が植樹できる大きさまで伸びている

→ シーニック森として植樹する際の苗木として活用し、苗木代を森の維持費に転用している

植樹活動、育成活動の継続のため、当該ルートで実施しているシーニックカフェプロジェクトと連携し、苗木の支援費を含んだオリジナルエコバック、オリジナルタンブラーをシーニックカフェで販売している。

→ タンブラーは毎年30個程度の売り上げがあり、継続的な活動に一役かっている

【活動の成果】

共同での植樹活動を通じて、普段触れ合わない人々が触れ合い、活動の輪が広がっている。長い時間を要するが、地域の方が自ら育て、地域の方に愛される景観が少しずつ育っている。



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
「樹になるタンブラー」の販売